

防災行政無線等の屋外スピーカーの音達範囲向上等に関する検討会
報告書骨子（案）

赤字は想定される記載内容

はじめに

第 1 部 検討の概要

- 1 検討の背景・目的
- 2 検討項目
- 3 検討体制
- 4 検討会の開催状況

⇒検討会の趣旨や体制等について記載

第 2 部 屋外スピーカーの音達範囲向上等に関する検討について

第 1 章 実証実験について

- 1 実証実験の概要

⇒「実証実験報告書」の実証実験概要箇所を整理して記載

- 2 実証実験の詳細

⇒「実証実験報告書」の実証実験・机上検討詳細を整理して記載

第 2 章 屋外スピーカーの機能強化（音達範囲向上等）について

- 1 音達範囲向上等の手法

⇒効果のある対策をまとめる

- ①高性能スピーカーを導入する
- ②既設操作卓の音声合成技術により了解度を改善する
- ③子局設備側の了解度を改善する

- 2 音達範囲向上等の技術的詳細について

⇒ 1 に関する具体的な方策

- ①スリムスピーカー、ホーンアレイスピーカー等の音達改善スピーカー
- ②了解度改善機能を有する音声合成
- ③特定周波数強調で放送音声に SII 改善を図った子局設備
及びその指示・制御を行う親卓設備

第 3 章 今後の課題

- 1 実証実験で明らかになった課題

① 高齢者は音量が小さくなると急激に聞こえにくくなる⇒屋外スピーカー以外の手段併用も重要

- 2 その他の検討すべき課題（検討会でのご意見、下記は現時点で想定されるもの）

- ① 防災放送の話速の「理解度」「緊急性」への影響
- ② 隣り合う子局間での干渉による音達への影響
- ③ 放送の鳴動確認を IoT 等の活用で安価にできないか